

— 科学研究費助成事業 —
 本学における採択課題一覧
 【研究代表者】

研究種目	部局名	職名	研究代表者	研 究 課 題 名	事業期間		
基盤研究(A)	経営学部	教授	齋藤政彦	代数幾何と可積分系の融合 - モジュライ理論とパンルヴェ型方程式 -	2022	2026	1
基盤研究(B)	薬学部	教授	国嶋崇隆	カルボカチオノイド化学における学理の深化とその実践的展開	2025	2028	2
基盤研究(B)	薬学部	教授	尾上浩隆	非ヒト霊長類モデルにおけるαシヌクレイン伝播と病態発現の神経基盤	2025	2027	3
基盤研究(B)	薬学部	教授	稲垣冬彦	溶媒スイング型CO2選択的回収：分離エネルギーからの脱却	2025	2027	4
基盤研究(B)	心理学部	准教授	河瀬諭	音楽に同期した身体運動よる社会的な絆の形成プロセスの解明	2023	2025	5
基盤研究(B)	薬学部	准教授	亀井敬泰	認知症根本治療を実現するバイオ創剤基盤としての海馬標的化DDSの確立	2023	2025	6
基盤研究(B)	栄養学部	准教授	石井剛志	渋味飲料と料理の食事相性の分子科学的検証	2021	2025	7
基盤研究(C)	経済学部	教授	田宮遊子	高齢期女性の貧困リスクに対する社会保障制度の政策的検討	2025	2029	8
基盤研究(C)	人文学部	講師	鈴木遥	インドネシア沿岸域における人々による木材の分解に関わる行為の成立要因	2025	2028	9
基盤研究(C)	現代社会学部	准教授	松川尚子	家族の〈住まい方〉の空間的把握とその効果に関する研究	2025	2028	10
基盤研究(C)	現代社会学部	教授	松田ヒロ子	台湾海峡危機と社会の軍事化：現代台湾における民間防衛のエスノグラフィー	2025	2028	11
基盤研究(C)	総合リハビリテーション学部	教授	大塚美和子	スクールソーシャルワーカーが学校と取組む子どもの意見表明権を尊重した支援メソッド	2025	2027	12
基盤研究(C)	総合リハビリテーション学部	講師	田代大祐	腹部隆起量測定を用いた呼吸サルコペニアのセルフスクリーニング法の開発	2025	2028	13
基盤研究(C)	総合リハビリテーション学部	教授	大庭潤平	5指駆動の筋電義手は「手」の代わりになり得るかー筋電位制御と視覚性認知機能からー	2025	2027	14
基盤研究(C)	総合リハビリテーション学部	准教授	森本陽介	高齢サルコペニア患者に対する新たな回復期リハビリテーション戦略の構築	2025	2029	15
基盤研究(C)	総合リハビリテーション学部	講師	南哲	共同創造モデルを用いた自閉スペクトラム症者におけるセルフケアの促進	2025	2028	16
基盤研究(C)	栄養学部	講師	伊藤智	ウェルシュ菌の新規検出法による汚染実態調査及びモデル実験による調理段階の動態解明	2025	2027	17
基盤研究(C)	栄養学部	准教授	吉村征浩	βヒドロキシ酪酸がアレルギー性皮膚炎即時型反応を抑制するメカニズムの解明	2025	2027	18
基盤研究(C)	薬学部	助教	村上遼	化学吸収法による海洋中CO2選択的回収技術の開発	2025	2027	19
基盤研究(C)	薬学部	講師	内海美保	薬剤師の業務を規制する法律の再構築に向けた国際比較研究	2025	2027	20
基盤研究(C)	薬学部	准教授	福島恵造	脂肪乳剤個別化投与速度設計の臨床実装を目的とした多施設共同研究	2025	2027	21
基盤研究(C)	人文学部	教授	中山文	ジェロントロジーにおける演劇の可能性ー異分野融合の開拓をめざして	2024	2026	22
基盤研究(C)	グローバル・コミュニケーション学部	教授	中西のりこ	世界諸英語リスニング力の育成：どのような学習者にどのようなトレーニングが必要か	2024	2027	23
基盤研究(C)	経営学部	准教授	金森大成	アフリカ大陸半乾燥地域における降水活動の時空間変動の解明	2024	2027	24
基盤研究(C)	法学部	准教授	森達也	文化冷戦の文脈におけるリベラリズムの思想的特質に関する研究	2024	2026	25
基盤研究(C)	経済学部	准教授	松榮豊貴	労働市場の政策・制度と求人・雇用変動のマクロ動学分析	2024	2026	26
基盤研究(C)	総合リハビリテーション学部	研究員	倉昂輝	神経発達症児と保護者が抱える日常生活の困り事を支える子育て支援アプリの社会実装	2024	2027	27
基盤研究(C)	全学教育推進機構	講師	橋淳治	大学の教員養成系における簡易水質分析法の開発と陸水環境教育カリキュラムの創生	2024	2026	28
基盤研究(C)	薬学部	講師	北條恵子	環境調和型合成：ミセルを反応場としてペプチドを水中化学合成する技術の開発	2024	2026	29
基盤研究(C)	薬学部	講師	井上雅己	TNFR2を標的とした機能性イムノサイトカインによるTreg増幅法と免疫疾患への応用	2024	2026	30
基盤研究(C)	薬学部	教授	中川公恵	ビタミンK変換酵素欠損マウスを用いた脂肪組織におけるビタミンKの新規機能解析	2024	2026	31
基盤研究(C)	薬学部	講師	木本貴士	脂溶性ビタミンの免疫誘導能を利用した経気道接種型の気道粘膜感染症ワクチンの開発	2024	2026	32
基盤研究(C)	薬学部	准教授	中本賀寿夫	長鎖脂肪酸受容体GPR40による脳腸連関を起点とした新たな疼痛能制御機構の解明	2024	2026	33
基盤研究(C)	薬学部	教授	鷹野正興	β-CGの精子形成における役割の解明と雄性不妊治療モデルの構築	2024	2026	34
基盤研究(C)	総合リハビリテーション学部	教授	松原貴子	痛覚変調性疼痛の中枢感作特性ー定量的感覚検査による神経メカニズム解明ー	2024	2026	35
基盤研究(C)	総合リハビリテーション学部	教授	塚本利幸	過疎地域の社会関係資本と「地域共生社会」 地元住民と移住者の居住地域構築に向けて	2024	2026	36
基盤研究(C)	栄養学部	教授	津川尚子	授乳期母子の効果的ビタミンD栄養改善法の探索と乳腺のビタミンD代謝分泌機構の解明	2024	2026	37
基盤研究(C)	現代社会学部	教授	水本有香	災害アーカイブにおける資料情報の国際標準化の研究	2024	2027	38
基盤研究(C)	総合リハビリテーション学部	講師	金井謙介	頭髄損傷者の大規模災害時の避難行動の実態と防災意識に関する研究	2024	2026	39
基盤研究(C)	人文学部	教授	赤井敏夫	媒体の変遷から見たインド映画の映像的特性的研究	2023	2026	40
基盤研究(C)	グローバル・コミュニケーション学部	教授	森下美和	言語産出の流暢性向上を目指した英語学習環境の構築：コロケーション習得を焦点に	2023	2025	41
基盤研究(C)	グローバル・コミュニケーション学部	教授	仁科恭徳	日英・英日パラレルコーパスオンライン検索ツールの発展と拡張、およびその活用研究	2023	2025	42
基盤研究(C)	経営学部	教授	島永和幸	個社性と業種特性を反映した人的資本開示モデルの構築に関する理論的・実証的研究	2023	2025	43
基盤研究(C)	栄養学部	准教授	田丸淳子	高齢者施設の多職種協働による栄養管理に必要な管理栄養士のリーダーシップスタイル	2023	2025	44
基盤研究(C)	心理学部	准教授	中川裕美	小規模法人の健康経営における阻害要因の解明および支援プログラムの開発	2023	2025	45
基盤研究(C)	心理学部	准教授	曾我部愛	中世における女性の寺社参詣についての基礎的研究	2023	2025	46
基盤研究(C)	総合リハビリテーション学部	教授	糟谷佐紀	障害者のための住宅政策の成立過程に関する研究	2023	2025	47
基盤研究(C)	薬学部	講師	江角悟	医療ビッグデータと疾患モデルを用いた抗がん剤誘発抑うつ障害の予防・治療薬の開発	2023	2025	48
基盤研究(C)	薬学部	教授	徳山尚吾	脳卒中後疼痛の発症機序におけるオレキシン受容体シグナルの関与	2023	2025	49
基盤研究(C)	薬学部	講師	刈谷龍昇	PDX由来がん細胞株の有用性の証明	2023	2025	50
基盤研究(C)	薬学部	助教	安藤徹	巨大腫瘍に対する新たな治療法としてのガドリニウム中性子捕捉療法	2023	2025	51
基盤研究(C)	総合リハビリテーション学部	研究員	西尾久英	唾液・口腔粘膜DNAを用いた次世代・脊髄性筋萎縮症スクリーニング・システムの開発	2023	2025	52
基盤研究(C)	総合リハビリテーション学部	教授	小川真寛	地域在住高齢者の主体性を促す生活行為に基づく身体活動量評価ツールの開発	2023	2025	53
基盤研究(C)	栄養学部	准教授	大平英夫	高齢マウスへの習慣的飲酒に対するゴマリグナン類の大腸老化抑制と機序解明の検討	2023	2025	54
基盤研究(C)	総合リハビリテーション学部	准教授	伊藤隆博	災害派遣福祉チームのリーダー活動の標準化に向けたリーダー養成研修プログラムの開発	2022	2025	55
基盤研究(C)	人文学部	教授	野田春美	ノグと方言におけるノグ相当形式の対照研究	2022	2025	56
基盤研究(C)	グローバル・コミュニケーション学部	准教授	香月裕介	日本語教育学における質的研究プラットフォーム構築のための基礎研究	2022	2025	57
基盤研究(C)	法学部	准教授	藤川直樹	ドイツ第二帝政期におけるラーバントの法学と実践的活動に関する個人史的研究	2022	2025	58
基盤研究(C)	経済学部	教授	林隆一	産業用ロボットエコシステムの多様性における各国SIerの機能分析	2022	2025	59
基盤研究(C)	心理学部	教授	山本恭子	対人感情制御における感情表出の機能的役割の解明	2021	2025	60
基盤研究(C)	心理学部	教授	毛新華	中国の在留邦人の文化適応支援に関する心理学的研究	2021	2025	61
挑戦的研究（萌芽）	心理学部	准教授	河瀬諭	音楽の一体感が生まれるメカニズム：グループ・フロー形成過程の解明	2024	2026	62
挑戦的研究（萌芽）	薬学部	准教授	亀井敬泰	認知症治療を刷新する神経幹細胞への薬物標的化と神経再生に向けた挑戦	2024	2025	63
挑戦的研究（萌芽）	薬学部	教授	国嶋崇隆	テトラアリアルアンモニウムの合成法の開発	2023	2025	64
挑戦的研究（萌芽）	薬学部	教授	武田真莉子	飲むワクチン（バイオ医薬）を革新的素材ウルトラファインバブルで創製する挑戦的研究	2023	2025	65
挑戦的研究（萌芽）	経営学部	教授	齋藤政彦	接続とHiggs場に関するモジュライ空間の幾何学とその応用	2022	2025	66
若手研究	人文学部	講師	松村淳	空き家リノベーションを起点とした新しいライフスタイルの創造に関する社会学的研究	2025	2028	67
若手研究	総合リハビリテーション学部	講師	大賀智史	運動誘発性鎮痛における運動の末梢構成要素の役割と作用機序の解明	2025	2027	68

※交付額0円の科研費は、1年度の補助事業期間の延長を行ったものである。
 2025年度に日本学術振興会から交付される科研費はないが、研究期間は継続しており、昨年度からの繰越金などによって研究活動を行う。

— 科学研究費助成事業 —
本学における採択課題一覧
【研究代表者】

研究種目	部局名	職名	研究代表者	研 究 課 題 名	事業期間		
若手研究	総合リハビリテーション学部	講師	見須裕香	地域在住高齢者における表情から早期のBPSDを検出するデジタルバイオマーカーの開発	2025	2026	69
若手研究	総合リハビリテーション学部	講師	服部貴文	運動誘発性鎮痛におけるVRの役割：マルチセンサーVRの効果と作用機序の探索	2025	2027	70
若手研究	総合リハビリテーション学部	准教授	下和弘	経皮的電気刺激を用いた感覚低下およびそれに起因する運動障害に対する治療法の開発	2025	2027	71
若手研究	薬学部	助手	平島俊亮	ビタミンK変換機構全貌解明を目指したビタミンK側鎖切断酵素の探索	2025	2027	72
若手研究	共通教育センター	講師	瀬川海	身体に障害のある人の筋持久力テストの開発	2025	2027	73
若手研究	総合リハビリテーション学部	准教授	藤田裕一	先天性身体障害者に対する本人のストレンスを活かした就労支援のあり方の構築	2024	2026	74
若手研究	栄養学部	講師	鳴海愛子	自然に減塩を達成する持続可能な食環境づくりのためのナッジを活用した介入研究	2024	2027	75
若手研究	経営学部	准教授	河瀬豊	伏在税の推計	2023	2025	76
若手研究	人文学部	講師	山下晃平	サステイナビリティの美学と「日本」性：文化の基層構造と美術展の変質に関する研究	2023	2025	77
若手研究	人文学部	准教授	倉持充希	17世紀イタリアにおける共同制作絵画に関する包括的研究	2022	2025	78
若手研究	経済学部	准教授	麻生裕貴	財政政策が人口変動、世代間階層移動、経済成長に及ぼす効果と効率性に関する理論研究	2022	2025	79
若手研究	人文学部	准教授	福島あずさ	ヒマラヤ南斜面域におけるモンスーン開始前の降水活動と水蒸気量変動の解明	2018	2025	80
研究活動スタート支援	薬学部	助手	加藤将貴	ニコチン性アセチルコリン受容体を標的とした脳卒中後疼痛の病態解明	2023	2025	81
研究活動スタート支援	現代社会学部	講師	梅川由紀	現代社会におけるモノ・ごみと人々の関わり方の特徴：フリマアプリ利用者への調査から	2021	2025	82
特別研究員奨励費	薬学研究科	DCI	辻優太(角田慎一)	抗腫瘍免疫抑制環境における2型TNF受容体の機能解明と創薬シーズ開発	2024	2026	83

※交付額0円の科研費は、1年度の補助事業期間の延長を行ったものである。
2025年度に日本学術振興会から交付される科研費はないが、研究期間は継続しており、昨年度からの繰越金などによって研究活動を行う。